

日本文化史Ⅰ

科目ナンバリング JPH-235
選択 2単位

菅原 正子

1. 授業の概要(ねらい)

日本の原始から近現代までの服飾の歴史を、教科書と画像資料・文献史料などを用いて概説する。通年での履修が望ましい。前期は原始から古代まで、後期は中世から近現代までをあつかう。

2. 授業の到達目標

- ・服飾の移り変わりには、衣服の素材、染織の技術、身分制度、その時代の風潮などが関係していることを知る。
- ・画像の人物の服装をみて、どの時代のどのような身分の人物であるのかを、その理由とともに説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末テスト50%

小テスト20%

リアクションペーパー30%

※合計点が100点満点で60点以上が合格(単位取得)

※小テストの実施日・方法については授業で説明する。

4. 教科書・参考文献

教科書

増田美子編 日本服飾史 東京堂出版

時にはプリントも配付する。

参考文献

増田美子編 日本衣服史 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

- ・教科書と授業のプリントやノートを読み直して復習し、次回の授業についての予告にも目を通しておく。
- ・授業で紹介された事からや参考文献に注意し、興味があれば自分でも調べてみる。

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回提出するリアクションペーパーには、質問・疑問点や感想など、必ず何かを書くこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 衣服の素材
- 【第3回】 原始時代の装身具
- 【第4回】 卑弥呼の時代の衣服
- 【第5回】 胡服のズボン・スカート
- 【第6回】 飛鳥時代の服装と制度
- 【第7回】 律令にみえる服装
- 【第8回】 唐風の服装へ
- 【第9回】 織物と染色の技術
- 【第10回】 服装の国風化
- 【第11回】 平安貴族の服装①男性
- 【第12回】 平安貴族の服装②女性
- 【第13回】 重ね色目と禁色
- 【第14回】 庶民の衣服
- 【第15回】 まとめ